
交通局事業概要

令和5年6月2日

川崎市交通局



目次

1	交通局理事者一覧	3
2	組織及び職員数	4
3	交通事業のあらまし	5
4	営業所の概要	6
5	市内の路線バスの状況	7
6	運輸実績	8
7	路線別の収支状況	9
8	川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）	11
9	令和5年度予算の概要	12
10	主な事業	13



1 交通局理事者一覧

(令和5年4月1日現在)

役職名	職名	氏名	内線電話等
川崎市交通事業管理者・交通局長	技術職員	中上 一夫 (なかがみ かずお)	47000
企画管理部長	事務職員	柳澤 和也 (やなぎさわ かずや)	47100
企画管理部庶務課長	事務職員	菅原 久雄 (すがわら ひさお)	47101
企画管理部庶務課担当課長(労務担当)	事務職員	平 勇治 (たいら ゆうじ)	47102
企画管理部経営企画課長	事務職員	永松 祐一 (ながまつ ゆういち)	47201
企画管理部経営企画課担当課長[事業改革推進]	事務職員	植村 宏明 (うえむら ひろあき)	47202
企画管理部経理課長	事務職員	牛島 祐一 (うしじま ゆういち)	47301
自動車部長	事務職員	澁谷 淳一 (しぶや じゅんいち)	47400
自動車部管理課長	事務職員	本山 実 (もとやま みのる)	47401
自動車部運輸課長	事務職員	徳原 英幹 (とくはら ひでき)	47501
自動車部運輸課担当課長[運行] 企画管理部経営企画課担当課長兼務	事務職員	張ヶ谷 務 (はりがや つとむ)	47502
自動車部安全・サービス課長	技術職員	持田 正大 (もちだ まさひろ)	47801
自動車部塩浜営業所長	事務職員	山田 誠 (やまだ まこと)	(288)0972
自動車部担当部長・鷺ヶ峰営業所長事務取扱	事務職員	小沢 正勝 (おざわ まさかつ)	(977)5222



2 組織及び職員数

(令和5年4月1日現在)

川崎市交通事業管理者 (交通局長)

1人

職員数 442人

- 内 訳 : 特別職1人
: 事務職員88人 (一般事務職65人、運輸事務職23人)
: 技術職員35人 (車両技術職32人、建築職2人、電気職1人)
: 技能職員317人 (自動車運転手)
: 業務職員1人

企画管理部

1人

庶務課

12人

経営企画課

7人

経理課

11人

自動車部

1人

管理課

9人

運輸課

15人

安全・サービス課

11人

塩浜営業所

173人

鷺ヶ峰営業所

201人

上平間営業所

井田営業所

乗車券発売所

川崎乗車券発売所

溝口乗車券発売所

※上平間・井田営業所は民間事業者に委託



3 交通事業のあらまし

(令和5年4月1日現在)

市バス運行開始日	昭和25年12月15日
運行区域	川崎市全域（一部横浜市乗入）
普通乗車料金 【市内均一】	現金：大人220円 小児110円 I C：大人220円 小児110円 ※川崎病院線は大人・小児とも100円
車両数	312両
営業路線数	28路線
運行系統数	171系統
停留所数	491箇所
認可キロ数	197.693km（市内195.003km、横浜市内2.69km）



4 営業所の概要



	塩浜営業所	鷺ヶ峰営業所	上平間営業所	井田営業所	計
所在地	川崎区塩浜2-2-1	宮前区菅生ヶ丘41-1	中原区上平間1140	高津区明津98	
営業開始	昭和37.8.7	昭和47.4.24	昭和28.7.22	昭和41.8.1	
車両数 (両)	92	102	59	59	312

※車両数は令和5年4月1日時点



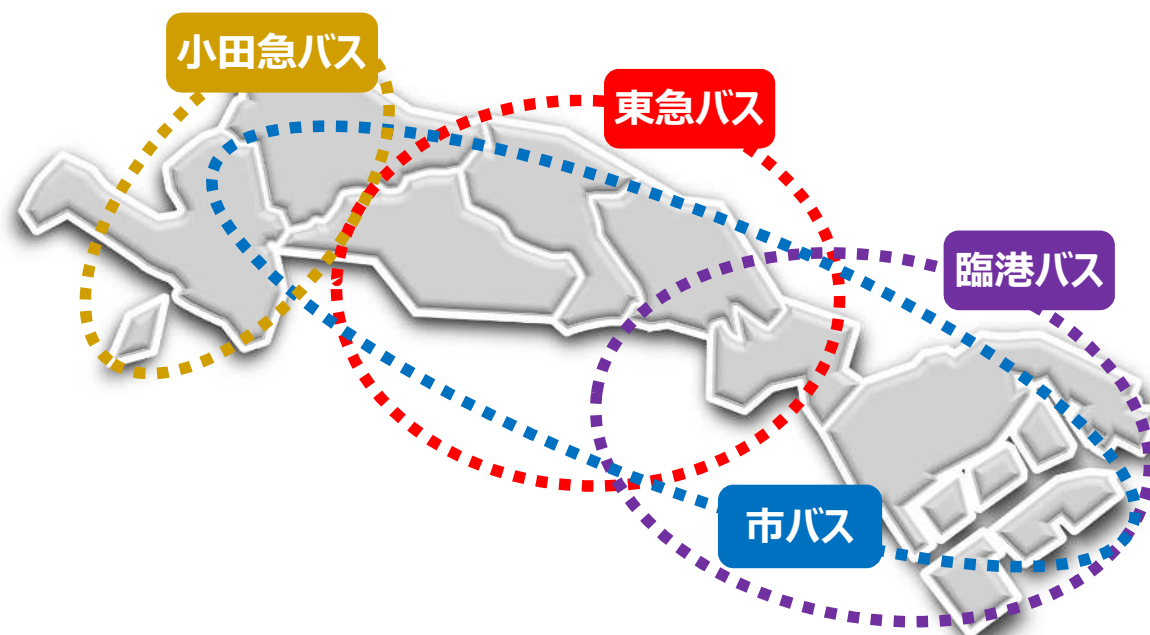
5 市内の路線バスの状況

- ・市内の路線バスは、市バスのほか、主に民間バス事業者3社が乗り入れており、川崎鶴見臨港バスが臨海部地域を、東急バスが東急東横線・田園都市線沿線を、小田急バスが小田急線沿線を主な営業エリアとしている。
- ・市バスは、市域全体を営業エリアとして、市内バス事業者における乗車人員の約4割のシェアを有している。

<市内バス事業者の乗車人員（令和3年乗合バス）>

事業者	乗車人員（人）	シェア
市バス	40,595,269	39.1%
臨港バス	30,461,945	29.4%
東急バス	22,391,359	21.6%
小田急バス	10,229,667	9.9%
合計	103,678,240	100.0%

<市内路線バスの営業エリアイメージ>



（資料）『川崎市統計書』から作成

※市バスは年度（4月～3月）、民間バスは年間（1月～12月）



6 運輸実績（令和3年度）

乗合バス事業

区分	数量	1日当たり
期末営業キロ	199.11km	—
停留所数	492箇所	—
運行系統数	177系統	—
営業路線数	28路線	—
営業日数	365日	—
期末在籍車両数	312両	—
延実働車両数	100,564両	276両
実車走行キロ	11,745,864km	32,180km
乗車人員	40,595,269人	111,220人
乗車料収入（税抜）	6,918,953,041円	18,956,036円

貸切バス事業

区分	数量	1日当たり
営業日数	365日	—
期末在籍車両数	5両	—
延実働車両数	320両	1両
実車走行キロ	18,473km	51km
乗車人員	106,674人	292人
乗車料収入（税抜）	20,518,969円	56,216円

※運行系統数には臨時系統の13系統を含む



7 路線別の収支状況

- ・ 営業係数とは

100円の収入を得るのに必要な費用を示す指数で、

100未満であれば黒字、100を超えると赤字であることを示す。

〔令和3年度決算〕

営業係数	路線数	構成比
100 未満 (黒字)	1 路線	3.6%
100 超 (赤字)	27 路線	96.4%
100 ~ 150 未満	21 路線	75.0%
150 以上	6 路線	21.4%
計	28 路線	100.0%

- 営業係数 = (営業費用 ÷ 営業収益) × 100
- 営業費用は、人件費、経費、減価償却費等
- 営業収益は、乗車料収入、広告料収入等



7 路線別の収支状況

[令和3年度決算]

	路線名	主要系統	営業収益 (千円)	営業費用 (千円)	営業損益 (千円)	営業係数
1	埠頭線	川崎駅～市営埠頭	1,279,983	1,638,554	△ 358,571	128.0
2	東扇島循環線	川崎駅～東扇島循環・東扇島西公園前	343,508	312,994	30,514	91.1
3	小向線	川崎駅ラゾーナ広場～妙光寺前～上平間	380,295	410,315	△30,019	107.9
4	渡田線	川崎駅～J F E 前～塩浜営業所前	336,659	384,201	△47,542	114.1
5	水江町線	川崎駅～水江町・塩浜	68,297	88,783	△20,486	130.0
6	扇町線	川崎駅～扇町	208,299	262,202	△53,903	125.9
7	神明町線	川崎駅ラゾーナ広場～神明町～上平間～小杉駅前	479,276	627,699	△148,423	131.0
8	新城線	川崎駅西口～新城駅前・蟹ヶ谷・井田営業所前・井田病院・横須賀線小杉駅	147,778	204,971	△57,193	138.7
9	小倉循環線	川崎駅西口～新川崎駅～江川町	357,852	394,761	△36,909	110.3
10	御幸線	川崎駅ラゾーナ広場～幸区役所入口～小杉駅前	112,420	147,487	△35,067	131.2
11	等々力線	小杉駅前～溝口駅前	115,237	128,219	△12,981	111.3
12	宮内線	小杉駅前～中原駅前	79,466	105,228	△25,762	132.4
13	蟹ヶ谷線	小杉駅前～蟹ヶ谷	63,067	104,535	△41,467	165.8
14	久末団地線	溝口駅南口・中原駅前～高田町	138,096	165,237	△27,141	119.7
15	馬絹線	宮前平駅～新城駅前・井田病院	298,966	335,037	△36,071	112.1
16	有馬線	小杉駅前・新城駅前～鷺沼駅	44,200	65,956	△21,756	149.2
17	久末線	溝口駅南口～有馬第二団地前	1,013,196	1,244,056	△230,861	122.8
18	柿生線	溝口駅南口～鷺ヶ峰営業所前・聖マリアナ医科大学前・新百合丘駅前・柿生駅前	614,051	690,245	△76,194	112.4
19	犬蔵線	溝口駅南口～宮前平駅・宮前区役所前・聖マリアナ医科大学前	180,191	270,482	△90,292	150.1
20	五所塚線	登戸駅（生田緑地口）～菅生車庫・宮前区役所前	289,395	349,675	△60,280	120.8
21	生田線	生田駅～鷺ヶ峰営業所前・聖マリアナ医科大学前・宮前平駅・宮前区役所前	111,551	155,902	△44,352	139.8
22	久地線	向丘遊園駅南口・登戸駅～溝口駅前～井田営業所前	102,342	155,875	△53,533	152.3
23	西菅線	向丘遊園駅南口・登戸駅～城下～西菅団地	87,701	131,949	△44,248	150.5
24	カリタス線	菅生車庫～登戸駅多摩川口～カリタス学園・中野島多摩川住宅	16,213	45,521	△29,307	280.8
25	新ゆり線	新百合丘駅前～鷺ヶ峰営業所前	104,939	131,941	△27,002	125.7
26	市民プラザ線	溝口駅南口～市民プラザ～梶ヶ谷駅	16,220	17,049	△829	105.1
27	川崎病院線	川崎駅～（直通）～川崎病院	29,919	54,164	△24,245	181.0
28	藤子・F・不二雄 ミュージアム線	登戸駅（生田緑地口）～藤子・F・不二雄ミュージアム				



8 川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）

川崎市バス事業 経営戦略プログラムについて

- 今後の人口増加と高齢化率の上昇、まちづくりの進展、運転手・整備員の不足、営業所施設の老朽化など、事業を取り巻く環境の変化等を踏まえ、市バス輸送サービスを持続的に提供し、市民やお客様の大切な交通手段を確保するため、経営計画を策定（平成31年3月）
- 計画期間は、令和元年度から令和7年度までの7年間（前期3年間、後期4年間に設定）
- 川崎市総合計画の政策や施策を効果的・効率的に推進するため、「分野別計画」として位置付け
- 後期4年間については、市バス事業を取り巻く環境の変化や前期3年間の取組状況等を踏まえて、**計画の見直しを行い、後期計画を策定**

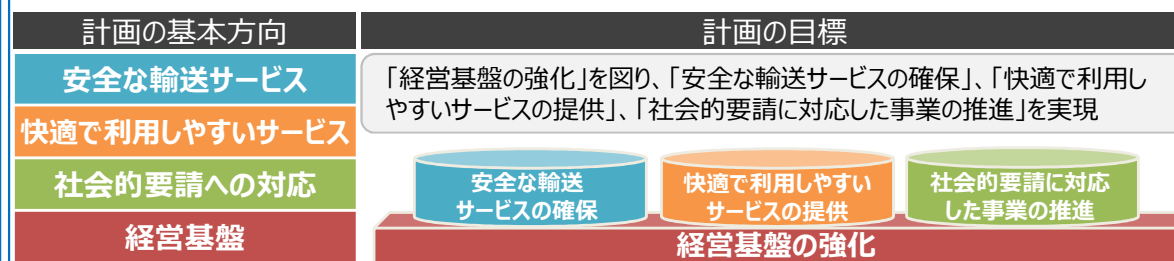
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
川崎市 総合計画	基本計画（H28年度から概ね10年）									
	第1期実施計画			第2期実施計画（H30～R3）			第3期実施計画（R4～R7）			
	経営プログラム（H26～H30）			経営戦略プログラム（R1～R7）						
交通局 経営計画				前期3年間（R1～R3）			後期4年間（R4～R7）			

市バス事業を取り巻く環境の変化と課題

- **新型コロナウイルス感染症の影響**
 - ・感染拡大防止のためテレワークなど人々の行動様式が変容したことから**乗車人員及び乗車料収入の大幅な減少**
 - ・今後も**感染拡大前の乗車人員への回復は困難**と想定
- **自然災害への対応**
 - ・これまでの想定を超える**自然災害が頻発**
 - ・自然災害を想定した災害時に備えた対応が必要
- **脱炭素の取組**
 - ・「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」と連携したバス車両等の**脱炭素に向けた取組**が必要
- **社会のデジタル化への対応**
 - ・乗車券のIC化による利便性の向上や普及への取組等が必要
- **その他の環境の変化**
 - ・燃料費の動向：軽油価格の急激な変動を見据えた対応が必要
 - ・バス停留所の安全確保：神奈川県バス停留所安全性確保合同検討会で公表されたバス停留所の安全対策が必要

後期計画の基本的な考え方

- 新型コロナウイルス感染症の影響等により市バスを取り巻く環境は大きく変化する中においても、市バス輸送サービスの持続的な提供に必要となる、「安全な輸送サービス」「快適で利用しやすいサービス」「社会的要請への対応」及び「経営基盤」の**4つの基本方向を維持することで、市民やお客様の大切な交通手段を確保**していく。
- 今後においても公共交通や公営バスとしての意義・役割を果たし、安全かつ快適で利用しやすいサービスを提供するためには、今般の乗車人員・乗車料収入の減少に伴う変化への対応が喫緊の課題であることから、後期計画では、全てのサービス提供の礎となる「**経営基盤の強化**」を**重要課題**と位置付け、さらなる経営改善に取り組む。



計画期間中の純利益の確保

- 純損益は、**後期4年間で純利益（黒字）の確保を目指し**、資金不足額は、**安定的に純利益（黒字）を確保することにより、順次解消を図る。**



9 令和5年度予算の概要

(単位 千円)

区 分		5 年 度 予 算 額	4 年 度 予 算 額	増 減	
				増 減 額	増 減 率 (%)
収益的収支	収 入	9,603,538	9,348,964	254,574	2.72
	支 出	9,669,265	9,846,758	△ 177,493	△ 1.80
	純損益 (税抜き)	△ 213,161	△ 597,098	383,937	
資本的収支	収 入	1,697,669	1,100,247	597,422	54.30
	支 出	2,501,339	1,771,059	730,280	41.23
当年度末累積資金過不足額		△171,745	△662,696	490,951	



10 主な事業

(1) 運輸安全マネジメントの着実な推進

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略1 安全な輸送サービスの確保

● 安全対策の強化

・輸送安全委員会の開催

- ▶ 輸送の安全に関する取組状況などの情報を共有し、安全意識の向上を図るため、年4回開催

・経営トップと営業所職員による意見交換の実施

- ▶ 交通事業管理者（交通局長）や安全統括管理者と営業所職員との間で、的確な情報伝達と双方向の意思疎通を図るための意見交換を実施

・運転手実技研修の実施

- ▶ 民間教習所施設を使用して行う実際の運行に則した体験型の運転手実技研修を実施

・添乗観察の実施

- ▶ 添乗観察の結果に基づく個別指導を実施

・ドライブレコーダーとデジタルタコグラフの活用

- ▶ ドライブレコーダー映像について、発生した事故等の要因分析等を行い運転手教育に活用
- ▶ 急加速や急制動などの運行データが記録可能なデジタルタコグラフを活用した指導の実施



輸送安全委員会



運転手実技研修



10 主な事業

(2) 安全啓発の推進

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略1 安全な輸送サービスの確保

● 輸送の安全に係る啓発活動の充実

・交通安全・バリアフリー教室の開催

- ▶ 区役所や警察署、学校等の関係機関と連携し、市バス車両を使用した交通安全・バリアフリー教室を開催

・自転車利用者に向けた注意看板の設置

- ▶ 自転車の車道走行の増加等を踏まえ、自転車接触事故の予防的対策として、市バス路線付近の自転車等駐車場への注意看板の設置



交通安全・バリアフリー教室

(3) 市バスネットワークの形成

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略2 快適で利用しやすいサービスの提供

● 人口動態や都市基盤整備に応じた市バスネットワークの形成

・人口の増加や社会変容による通勤等の輸送需要の変化への対応

- ▶ 利用動向を踏まえたダイヤ改正、路線再編の実施

・都市基盤整備の進捗に応じたバスネットワークの検討

- ▶ 臨海部の拠点整備等に合わせた路線の検討
- ▶ 鷺沼・宮前平駅周辺地区
- ▶ 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区 など



10 主な事業

(4) バス利用環境の充実

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略2 快適で利用しやすいサービスの提供

市バスナビ

- ▶ 市バスナビの運用による運行情報の提供



停留所運行情報表示器

- ▶ バス停留所における運行情報の提供



バス総合案内表示板

- ▶ 駅改札口付近における運行情報の提供



バス車内停留所案内表示器

- ▶ バス車内における案内情報の提供



(5) 快適な移動空間の提供

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略2 快適で利用しやすいサービスの提供

● バス停留所施設の整備・維持

- ▶ 停留所施設の清掃等を定期的を実施
- ▶ 劣化の進んでいる上屋の補修、二面式標識等の補修・更新を実施



上屋



二面式標識



10 主な事業

(6) 環境対策の推進

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略3 社会的要請に対応した事業の推進

●バス車両等の脱炭素に向けた取組

- ▶ 人と環境にやさしい市バスを目指して、国庫補助金等を活用しながらCO₂排出量の少ないハイブリッドバス車両を導入(39両)
- ▶ 塩浜・井田・鷺ヶ峰営業所施設照明（屋内）のLED化に向けた取組（令和5年度：実施設計）



ハイブリッドバス



照明のLED化

(7) 災害時等への対応

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略3 社会的要請に対応した事業の推進

●危機管理体制の強化に向けた取組

・災害時等における実効性のある取組

- ▶ 災害時等を想定した訓練の実施
- ▶ 訓練結果を踏まえた交通局危機管理対応マニュアル等の改訂

・バス非常時に備えた取組

- ▶ 死亡事故等の発生を想定し、本局と営業所間における情報収集・伝達のシミュレーションを行う重大事故通報訓練を実施
- ▶ 非常用連絡無線機を活用して、運行指示や運行に係る情報収集を実施



重大事故通報訓練



10 主な事業

(8) 事業基盤の強化

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略4 経営基盤の強化

● 安定的な事業基盤を支える人材の確保

- ▶ 大型自動車第二種免許を保有していない若年層の採用に向けた運転手（養成枠）採用選考を実施
- ▶ ホームページ、民間求人サイト、SNS等を活用して、採用選考の効果的な広報を実施

● 営業所の計画的整備

- ▶ 塩浜営業所の建替えに向けた営業所施設の機能の検討
- ▶ 北部地域における営業所拠点の再整備について検討



民間求人サイト
（出典）Airワーク

(9) 経営力の強化

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略4 経営基盤の強化

● 持続可能な経営の推進

・経営状況を踏まえた事業規模の適正化

- ▶ 利用実態を踏まえた営業所における乗車券発売窓口の見直し

・営業所の管理委託の継続

- ▶ 上平間営業所及び井田営業所の管理委託を継続（令和4年度から令和8年度までの5年間）

・総人件費の抑制

- ▶ 働き方・仕事の進め方改革の推進による長時間勤務の是正
- ▶ 勤務ローテーション等の見直し（時間外勤務の縮減・平準化を含めた総人件費の抑制）



10 主な事業

(10) プロモーションの推進

川崎市バス事業 経営戦略プログラム（後期計画）
戦略4 経営基盤の強化

<市バス広報>

・市バス公式ツイッター

- ▶ 市バスイベント情報、かわさきノルフィンの情報などのほか、事故や災害時の路線運行情報などを随時発信

・市バスホームページ

- ▶ ダイヤ改正、運行系統変更など重要な情報のほか、お楽しみ情報などを発信

・市バスマップ

- ▶ 市バス全路線の路線図をはじめ、主要駅の乗り場案内、料金や各種制度の案内などを掲載



かわさき市バスマップ

<ホームタウンスポーツチームとの協働事業>

・川崎フロンターレとの協働事業

- ▶ ホームゲーム開催時に、小杉駅から等々力陸上競技場前まで直行便を運行
 - ※ 運転手がユニフォームを着用
 - ※ 川崎フロンターレ選手による車内アナウンスを実施

・川崎ブレイブサンダースとの協働事業

- ▶ ホームゲーム開催時に、小杉駅前発市民ミュージアム行きの臨時増発便を運行



運転手のユニフォーム着用